

# 実力闘争で反撃し、清算事業団の仲間の奪還を

日刊  
**動労千葉**

1988.12.23  
No.2946

## 館山支部定期大会を開催(12/14)

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五〇六(公衆)〇四七二二二七二〇七

十二月十四日十三時より館山支部第十一回定期大会は、五三名の支部組合員が参加するなか開催された。

大会は、渡辺副支部長のあいさつの後、議長に鳩飼代議員を選出して始まった。

支部を代表して笹生支部長は「当局の組合つぶし、強制出向、関連事業の子会社化攻撃にはストライキを含めた実力闘争で反撃し、清算事業団の仲間十二名の奪還闘争を強化し勝利しよう」と決意を明らかにした。

続いて来賓のあいさつに入り、安房地区労、辻田事務局長より、「動労千葉の運動方針を全面的に支持します」とのあいさつを受け、また労金の岡田氏よりあいさつを受けた。

本部を代表して発言に立った中野委員長は、「強権的労務支配のもとで運転保安を無視し、上越線、東中野駅などの重大事故が続発している。運転保安を守るためにはストライキ体制を強化し、継続していくことが重要である」と述べた。

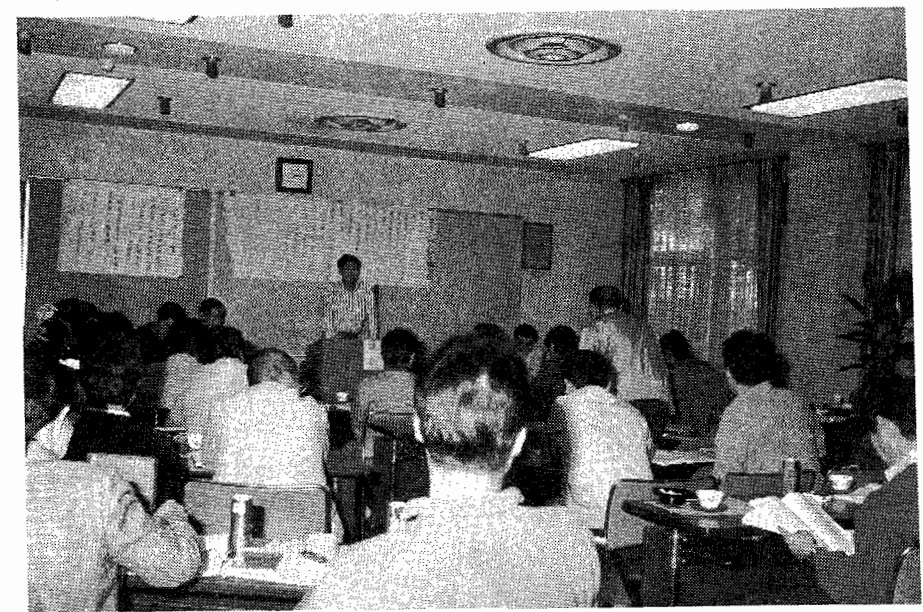
続いて議事に入り、執行部より一般経過報告、会計報告、運動方針が代議員、傍聴者に提起され質疑応答に入った。

### 朝

握るこぶしの中から  
立ちあがる脚の元から  
殺された男たちのうめきがのぼる  
沈黙のうちに死を強要され或は  
一秒一分を死とひきかえに走らされた  
奴隷の死が類々と重なり  
怒りのはじける炎を倍化する  
スクラムを組む腕に  
スト声明に  
広大な連帯がつづき  
人々は叫ぶ  
殺されてなるものか  
働く者たちの朝を開くために

一九八八・一二・一四

この詩は動労千葉を支援してくださっている詩人の「東中野事故」への思いをこめた、動労千葉への激励の詩です



活発な討論がかわされた館山支部定期大会

質疑では、「運転保安の問題」「京葉運輸区の外勤に限定免許を導入したことによって次期ダイ改で外勤区の外勤に波及するののか」「地区労の物販の取り組み」「職制の私服による添乗があった場合の対応の仕方」「アゴヒモ、遮光幕の取り扱い」など活発な質問が出され、本部委員長の総括答弁、「館山支部組合員は一層の勝利への確信と闘う決意で頑張る」ことを確認し、最後に支部長の団結ガンバローをもって大会は成功裡に終了した。

また、執行体制は、支部執行委員や乗務員分科役員が留任することとなった。  
発・館山支部通信員 I

12・26 木戸地労委  
14時30分本千葉駅  
改札口集合  
1・14 89 団結旗びらき  
13時 労働者福祉センター

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！